

京都学習協 第17回哲学講座募集要項

申し込みの手続きは、簡単です。

「申込書」に必要事項を記入し、受講料をそえて申し込んでください。

募集の定員は、60名です。(定員になり次第〳切ります)

講義時間は、午後1時30分～5時(休憩も含まます)

受講料は、25,000円(税込み)です。

テキスト：講義の度にレジュメと資料をお渡しします。

会場は、『京都学習会館』

二・四輪共に駐車場はありません。二条城市営駐車場へお願いします。

地下鉄丸太町駅・二条城前駅から『京都学習会館』まで歩いて10分以内です。



申込先は.....
 京都労働者学習協議会
 〒602-8147
 京都市上京区堀川丸太町西一筋目上ル『京都学習会館』内
 電話(075)841-8141
 FAX(075)821-3665
 受付時間は10時～20時

きりとり

第17回京都哲学講座 申し込み用紙

申込み日時 年 月 日

フリガナ： 性別 年齢

氏名： 男・女 才

現住所：

職場・学園：

受付日時 電話：職場() 自宅()

受付者名 備考

ヘーゲル著 『小論理学』を読む

京都学習協 第17回哲学講座

講師は 鱒坂 真・関西大学名誉教授



ゲオルク・ヴィルヘルム・フリードリヒ・ヘーゲル
 Georg Wilhelm Friedrich Hegel
 (1770年 - 1831年)

期間.....
 2008年3月23日
 ~12月21日
 毎月1回 全10回
 午後1時30分～5時
 会場.....
 『京都学習会館』
 受講料.....
 25,000円(税込み)

申込先は 京都労働者学習協議会 〒602-8147京都市上京区堀川丸太町西一筋目上ル『京都学習会館』内 電話(075)841-8141 FAX(075)821-3665 受付時間は10時～20時



京都学習協 第17回哲学講座
ヘーゲル著『小論理学』を学ぶ
== 鮎坂 真先生からよびかけ

2008年度の哲学講座では、ヘーゲル論理学を取り上げることにしたいと思います。これまでも私たちの書いた『ヘーゲル論理学入門』をテキストにして、講座を開いたことはありましたが、今回はヘーゲルの『小論理学』自体をテキストにして講座を開きたいと思います。

ヘーゲル哲学を頂点とするドイツ古典哲学が、科学的社会主義理論の「三つの源泉」のひとつであることは、よく知られているとおりです。マルクスはもともとヘーゲル哲学から出発した哲学者で、これを唯物論的に乗り越えて自分たちの理論を作り上げました。彼は単純にヘーゲル哲学を否定したのではなく、その積極的要素を十分に吸収し、消極的要素を廃棄することによってこれを乗り越えたのでした。『資本論』を仕上げるにあたって、マルクスはヘーゲルの『論理学』を何回も読み直したと自ら書いていますし、後にレーニンも唯物弁証法を仕上げるには、ヘーゲル『論理学』を研究しなおす必要があるとして、ヘーゲル『論理学』についての詳細なノートを残しました。（『哲学ノート』）。このように古典的理論家たちが詳しく研究し、理論的よりどころにしたヘーゲルの『論理学』を直接テキストにして、一年間の学習を行ないたいと計画しています。

ヘーゲルの『論理学』は、単なる論理学ではなく、同時に認識論の書物でもあるという性格を持っていて、哲学全般のうちの中心部分について論じたもので、弁証法研究の宝庫です。唯物弁証法について学ぶときに、その源泉であるヘーゲル論理学にまでさかのぼって学習することは、私たちの科学的社会主義学習の大きな助けとなるでしょう。

現代が大変動・大激動の時代であることは明らかで、私たちが身にしみて実感するところです。それだけに体制側はあらゆる知恵をしぼってイデオロギー攻撃を仕掛けてきています。テレビ・ラジオ・週刊誌などのマスコミを総動員して、大規模できめ細かな計画的な攻撃です。この攻撃はマスコミだけではなく、教育や学問の世界にも及んでいます。特に哲学や社会科学の領域ではこの

ような攻撃が目立ちます。このようなイデオロギーに打ち勝ち、いまの世間の風潮に流されないためには、先ず基礎理論の学習が大切であることは言うまでもありません。特にヘーゲルによって開拓され、マルクス・エンゲルスによって発展させられた弁証法の論理を磨くことが極めて重要になっていると思われます。

テキストはヘーゲル『小論理学』（岩波文庫）を使いますが、これは現在品切れ中で、残念ながら手に入らないと思われます。そこでテキストの必要部分を事務局でコピーして、毎回配布するというやり方で、進めていきたいと考えています。古本屋に時々でているときがありますので、必要な方は気をつけてみてください。副読本として『ヘーゲル論理学入門』（有斐閣新書）を使います。これも現在品切れのようですので、古本屋で気をつけてみてください。多くの方々がこの哲学講座に参加して下さることを期待いたします。

講義日程	講義テーマ
3月23日(日)	第1講義 ヘーゲル哲学の意義と『論理学』の特徴 // 有論(有・無・成)
4月27日(日)	第2講義 定有と向自有 // 純量と定量 // 限度(量的変化と質的变化の内的連関)
5月25日(日)	第3講義 本質(みかけのすがたと真のすがた) // 現象の世界・内容と形式・相関
6月22日(日)	第4講義 現実性(本質と現象の統一) // 絶対的相関(実体と偶有、原因と結果)
7月27日(日)	第5講義 概念とは何か(普遍・特殊・個別)
8月24日(日)	第6講義 判断とはなにか // 推理とは何か
9月28日(日)	第7講義 機械的關係 // 化学的關係
10月26日(日)	第8講義 目的的關係 // 生命とはなにか
11月23日(日)	第9講義 認識とは何か // 弁証法的方法とはなにか(1)
12月21日(日)	第10講義 弁証法的方法とはなにか(2) // ヘーゲル論理学と『資本論』

講義時間は... 午後1時30分～5時です。